

経営の基本方針

当行は次の3項目を経営理念に掲げ、地域密着とお客さまのニーズに沿った金融サービスの提供に努めております。

- **お客様に信頼され、親しまれる銀行として地域社会の繁栄に奉仕する。**
- **健全経営に徹し、強固な経営体質を築き、安定した発展を持続する。**
- **優れた人材の育成に力を注ぎ、清新はつらつとした行風を確立する。**

今後とも、経営体質の一層の強化を図るとともに経営の透明性を高め、地域社会に真に期待され、信頼される銀行を目指してまいります。

企業情報の開示につきましては、当行の経営方針や業績などを広くご理解いただくため、ディスクロージャー誌、ホームページ等に具体的な取組

み施策や決算の概要を開示しております。また、平成26年には、5～6月にかけて新潟県内4会場（長岡、新潟、県央、下越）でお客さま向け会社説明会（IR活動）を計6回開催いたしました。その模様はネットIRとして当行ホームページから閲覧可能ですので、是非ご覧ください。

経営基盤強化への取組み

第9次中期経営計画「プラスα計画 ～感謝を笑顔に、笑顔から信頼へ～」

当行では現在、第9次中期経営計画「プラスα計画～感謝を笑顔に、笑顔から信頼へ～」（平成24年度～平成26年度）に取り組んでおり、計画の経営ビジョンに掲げる“「親しみやすさ」のバージョンアップ、「相談したい銀行」地域No.1”を目指し、さまざまな施策を実施しております。

計画二年度となる平成25年度の取組みは、次のとおりです。

平成26年1月4日より、地域金融機関向け共同アウトソーシングサービス「NEXTBASE（ネクストベース）」を活用した新基幹系システムの稼働を開始いたしました。NEXTBASEは、当行を含め第二地方銀行12行（平成26年1月4日現在）が加盟する業界最大規模の基幹系システムであり、拡張性や柔軟性に優れた最先端システムの機能を最大限活用し、お客さまによりご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

事業を営むお客さまに対しましては、新潟県内の食品関連事業者や農業生産者の皆さまを対象に

大手コンビニエンスストアチェーンとの個別商談会を開催し、ビジネスマッチングの機会を提供してまいりました。また、国が実施するものづくり補助金や投資促進税制の活用に関するセミナーを開催し、設備投資を検討されている中小企業の皆さまに対しタイムリーな情報提供を行ってまいりました。海外進出を希望される事業者の皆さまに対しましては、現地流通通貨建ての資金調達をサポートするため、スタンドバイ・クレジット制度における日本政策金融公庫との連携を開始いたしました。

個人のお客さまに対しましては、子育て世帯をご支援するため、高校生以下のお子さまを扶養されている方を対象に金利を引下げする住宅ローンの新商品「スマイル学割10（テン）」の取扱いを開始いたしました。また、少額投資非課税制度“NISA（ニーサ）”の開始に先駆け、制度の概要や活用方法に関するセミナーを開催したほか、口座開設いただいたお客さまにQUOカードをプレゼ

ントするキャンペーンを実施いたしました。このほか、平成25年度税制改正に対応した預金商品「たいこう教育資金贈与専用口座」の取扱いを開始いたしました。

サービス面では、普通預金と総合口座について新通帳の取扱いを開始いたしました。新通帳は、環境に配慮しリサイクル可能な素材を使用してい

るほか、色覚の個人差を問わずご覧いただけるよう、カラーユニバーサルデザインを採用いたしました。

今後につきましても、本計画の基本戦略上のテーマとしている「地域社会・経済の活性化」および「経営体質の強化」を実現するための施策を着実に実践してまいります。

第9次中期経営計画 プラスα計画

～ 感謝を笑顔に、笑顔から信頼へ ～

〔2012年4月～2015年3月〕

第9次中計のシンボルマーク
「ツインスマイル」



目指す姿

経営ビジョン 「親しみやすさ」のバージョンアップ、
「相談したい銀行」地域No.1

計数目標
(最終年度)

コア業務純益ROA	0.41%
経常利益	30億円
Tier1比率 (バーゼルⅡベース)	10%

行動指針

3S+S (スリーエス プラス エス)

[「敏感に」(Sensibility)・「迅速に」(Speed)・「熱心に」(Spirit) + 「笑顔」(Smile)]

基本戦略

テーマ①

地域社会・経済の活性化

基本戦略Ⅰ

地域振興への積極的な貢献

基本戦略Ⅱ

顧客満足度の向上

テーマ②

経営体質の強化

基本戦略Ⅲ

収益力の強化

基本戦略Ⅳ

健全性の向上

基本戦略Ⅴ

営業基盤の強化

基本戦略Ⅵ

営業力の強化
～次期システムのメリット活用～

戦略のベース

人材育成の強化

頭取メッセージ

地域金融機関を取り巻く環境を展望しますと、少子高齢化に伴う人口減少により地域経済の縮小が懸念されており、金融機関同士の競合がますます激化し、経営環境は今後、一段と厳しさを増すことが予想されております。

このような状況のなか、私ども地域金融機関に対しては、コンサルティング機能を従来以上に発揮し、地域の中小企業の皆さまに対する事業拡大や経営改善のサポートを通じて、地域社会・経済の活性化に積極的に貢献していくことが期待されております。

こうした諸課題に適切に対処すべく、当行は、第9次中期経営計画「プラスα計画～感謝を笑顔に、笑顔から信頼へ～」を着実に実行し、お取引先企業の成長可能性を重視した新規融資への取組みや付加価値をプラスした金融サービスの提供を通じ

て、地域社会・経済の活性化に全力を尽くしてまいります。また、効率化を軸にした業務改革を押し進めることで、当行の特長である営業力を一層高め、収益力や営業基盤の強化を図ってまいります。

併せて、お客さまの経営力を見極める目利き力やコンサルティング能力を備えた人材を継続的に育成し、お客さまから真っ先にご相談いただける銀行を目指すとともに、お客さまから信頼いただき、安心してご利用いただくため、コンプライアンスの徹底やリスク管理の高度化に引き続き取り組んでまいります。

当行は、こうした取組みにより、地域に根差した金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たしてまいります。

地域社会の活性化に向けた取組み

「地域金融機関の社会的責任（CSR）」とは、安定的な資金供給、各種金融サービスの提供といった地域金融機関の本来の役割にとどまらず、さまざまな面から地域社会の活性化に貢献していくことであると考えております。

こうした考えのもと、当行ではこれまで、長岡交響楽団の定期演奏会「大光ツインスマイルコンサート」や新潟県女子駅伝大会に協賛し、地域の文化・スポーツの振興に取り組んでまいりました。また、次世代社会を担う子供たちへの金融授業の実施など、地域社会の将来に向けた活動を行って

まいりました。そのほか、平成23年度からは「1店舗1貢献運動」の取組みを毎年行っております。公園や河川敷などの清掃活動、献血、チャリティバザー収益金の寄付など、全営業店および本部のそれぞれが地域に密着した活動を展開しております。これらの取組みの詳細については本誌14～15ページに掲載しております。

今後もこうした取組みの継続により地域社会の活性化に貢献し、地域からの信頼を確かなものとするすることで、地域金融機関としての企業価値の向上を図ってまいります。